

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number :

2002-320641

(43) Date of publication of application : 05.11.2002

(51) Int.Cl.

A61F 13/72

A61F 5/44

A61F 13/15

A61F 13/49

A61F 13/494

A61F 13/496

A61F 13/53

(21) Application number : 2001-130196

(71) Applicant : KAO CORP

(22) Date of filing : 26.04.2001

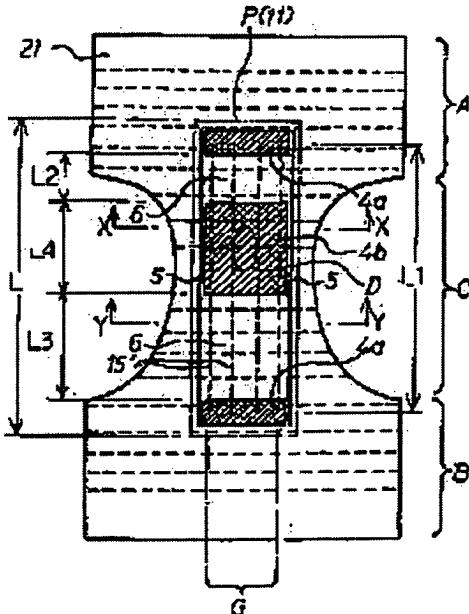
(72) Inventor : NAGAHARA SHINSUKE
ITOI NAMIE
FUKUHARA YAYOI
TANAKA MASAHITO

(54) SHORTS TYPE ABSORBENT ARTICLE

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a shorts type absorbent article excellent in absorbency and a leak-proof property by providing an elimination part of the wearer with a good fit to the absorbent body in nearly a line-free state, allowing for the effective absorption of menstrual discharge, urine and the like and capable of preventing lateral leak caused by a possible moving of fluids in the width direction of the absorbent body.

SOLUTION: In a shorts type absorbent article composed of an absorbent body 11 and a shorts type exterior body 21, an elastic member 15' is arranged along the longitudinal direction of the absorbent body 11 which is connected to the sheathing 21 in a pair of the first connecting parts 4a, 4a positioned on both ends in the longitudinal direction and the second connecting part 4b positioned adjacent to the elimination



point. Non-connecting part 6, 6 which is not connected to the exterior body 21, is formed between a pair of the first connecting part 4a, 4a and the second connecting part 4b.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 21.04.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-320641

(P2002-320641A)

(43)公開日 平成14年11月5日 (2002.11.5)

(51)Int.CL'

A 61 F 13/72
5/44
13/15
13/49
13/494

識別記号

F I

A 61 F 5/44
13/16

A 41 B 13/02

マークト*(参考)

H 3 B 0 2 9

3 3 0 4 C 0 9 8

K

B

U

審査請求 未請求 請求項の数 6 O.L (全 7 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号

特願2001-130196(P2001-130196)

(22)出願日

平成13年4月26日 (2001.4.26)

(71)出願人 000000918

花王株式会社

東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番10号

(72)発明者 長原 道介

栃木県芳賀郡市貝町赤羽2606 花王株式会社研究所内

(72)発明者 糸井 泰美江

栃木県芳賀郡市貝町赤羽2606 花王株式会社研究所内

(74)代理人 100076632

弁理士 羽鳥 修 (外2名)

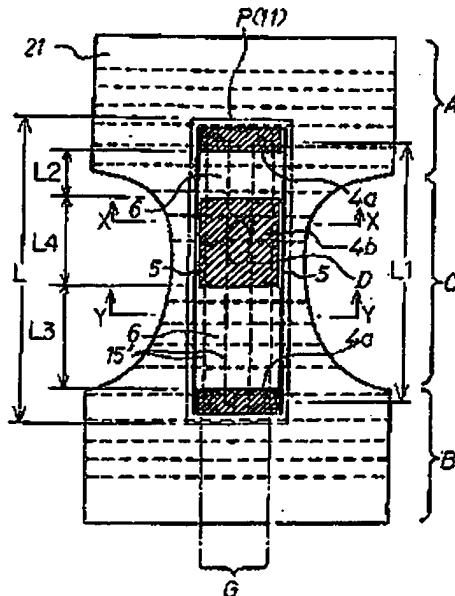
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 パンツ型吸収性物品

(57)【要約】

【課題】 個用者の排泄部に対して吸収性本体を誤の少ない状態で良好にフィットさせることができ、経血、尿等を効率的に吸収させることができると共に、液体が吸収性本体の幅方向に移動して生じる横漏れを防止することができる、吸収性能及び漏れ防止性能に優れたパンツ型吸収性物品を提供すること。

【解決手段】 吸収性本体11とパンツ型の外装体21とからなるパンツ型吸収性物品において、弹性部材15が、吸収性本体11の長手方向に沿って配設されており、吸収性本体11は、長手方向の両端部に位置する一对の第1接合部4a, 4a及び排泄ポイント近傍に位置する第2接合部4bにおいて外装体21に接合されており、且つ一对の第1接合部4a, 4aそれぞれと第2接合部4bとの間に外装体21に接合されていない非接合部6, 6が形成されている。



(2)

特開2002-320641

2

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 パンツ型の外装体と、該外装体の内面側に固定され液保持性の吸收体を有する縦長の吸收性本体とかなるパンツ型の吸收性物品において、前記吸收性本体の厚み方向における前記吸收体の前記外装体側に、弹性部材が、該吸收性本体の長手方向に沿って伸長状態で配設されており、前記吸收性本体は、その長手方向の両端部に位置する一対の第1接合部及び排泄ポイント近傍に位置する第2接合部において前記外装体に接合されており、且つ一対の第1接合部それと第2接合部との間には該吸收性本体が該外装体に接合されていない非接合部が形成されているパンツ型吸收性物品。

【請求項2】 少なくとも股下部における前記弹性部材は、2.5mm以上の幅で配されている請求項1記載のパンツ型吸收性物品。

【請求項3】 前記弹性部材は、その長さが前記吸收性本体の全長に対して95%未満であり、前記第2接合部に隣接する一対の前記非接合部に位置する部分の合計長さが該吸收性本体の全長に対して10～70%である請求項1又は2記載のパンツ型吸收性物品。

【請求項4】 前記第2接合部は、前記吸收性本体の長手方向に沿う方向の長さが、該吸收性本体の全長に対して5～40%である請求項1～3の何れか記載のパンツ型吸收性物品。

【請求項5】 前記弹性部材が配設された弹性領域は、その収縮力が250～950cNである請求項1～4の何れか記載のパンツ型吸收性物品。

【請求項6】 前記外装体の幅方向に胴周囲部弹性部材が配設されており、前記第2接合部における前記吸收性本体は、該胴周囲部弹性部材の収縮力により、若用者の肌側へ凸形状を形成していることを特徴とする請求項1～5の何れか記載のパンツ型吸收性物品。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、吸收性能及び漏れ防止性能に優れたパンツ型吸收性物品に関する。

【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】 特開2000-93462号公報には、お尻の割れ目部分に対する密着性を高め、尿や経血が後ろ漏れする不安を解消した吸收性物品として、腹側部、背側部及び股下部を有するパンツ形態の吸收性物品において、少なくとも股下部と背面部の縦方向中心に弹性部材を配置し、該弹性部材の絞り込みで若用者に密着させるようにした吸收性物品が提案されている。しかし、この吸收性物品においては、前記弹性部材がパンツ型の形態を有する外装体の構成シート間に配設されており、吸收体と外装体とを一体的に持ち上げる必要があるため、液吸収面を、若用者に良好に押し当てることが困難である。また、弹性部材の

収縮力により吸收体に皺が生じるため、若用者の排泄部に対するフィット性に劣り、また、皺により、排泄された液体が液吸収面上を横方向に流れて漏れを生じる恐れがある。

【0003】 従って、本発明の目的は、若用者の排泄部に対して吸收性本体を皺の少ない状態にて良好にフィットさせることができ、人体から排出される経血、尿等の液体を効率的に吸収させることができると共に、液体が吸收性本体の横方向に移動して生じる横漏れを防止することのできる、吸收性能及び漏れ防止性能に優れたパンツ型吸收性物品を提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明は、パンツ型の外装体と、該外装体の内面側に固定され液保持性の吸收体を有する縦長の吸收性本体とかなるパンツ型の吸收性物品において、前記吸收性本体の厚み方向における前記吸收体の前記外装体側に、弹性部材が、該吸收性本体の長手方向に沿って伸長状態で配設されており、前記吸收性本体は、その長手方向の両端部に位置する一対の第1接合部及び排泄ポイント近傍に位置する第2接合部において前記外装体に接合されており、且つ一対の第1接合部それと第2接合部との間には該吸收性本体が該外装体に接合されていない非接合部が形成されているパンツ型吸收性物品を提供することにより、前記目的を達成したものである。

【0005】

【発明の実施の形態】 以下、本発明をその好ましい実施形態に基づいて説明する。本発明のパンツ型吸收性物品の一実施形態としての女性用ショーツ型吸收性物品1は、図1～4に示すように、パンツ型の外装体21と、該外装体21の内面側に固定され、液保持性の吸收体14を有する縦長の吸收性本体11とかなる。本女性用ショーツ型吸收性物品は、生理時や軽失禁時に用いられる、液吸収保持能を有する使い捨てタイプのショーツである。

【0006】 吸收性本体11は、液透過程の裏面シート12、液不透過程の裏面シート13及び両シート12、13間に介在された液保持性の吸收体14を具備し、平面視して縦長指形状をなしている。表面シート12及び裏面シート13は、吸收体14の周縁部において互いに接合されており、吸收体14は裏面シート12、13間に接着固定されている。

【0007】 吸收性本体11の厚み方向における吸收体14の外装体21側には、弾性部材15が、該吸收性本体11の長手方向に沿って伸長状態で配設されている。本実施形態においては、糸状の弾性部材15が、吸收体14と裏面シート13との間に、互いに平行に複数本配されている。弾性部材15は、その全長に亘って、接着剤を介して吸收体14及び裏面シート13に接合固定されている。また、弾性部材15は、吸收性本体11の長

(3)

特開2002-320641

3

手方向の両端部において、表面シート12及び裏面シート13と共に外装体21に固定されている。尚、図2においては、吸収性本体11の図示が省略されており、該吸収性本体の配設位置が2点鎖線Pで示され、該吸収性本体に配された弾性部材15の配置位置が符号15'で示されている。吸収性本体11の長手方向の両側縁部には、それぞれ、弾性部材16を有する立体ギャザー形成用のシート材17が長手方向に沿って接合固定されて、立体ギャザー18が形成されている。

【0008】外装体21は、図1に示すように、ウエスト開口部22及び一对のレッグ開口部24、24を有するパンツ型の形態を有している。ウエスト開口部22及び一对のレッグ開口部24、24それぞれには、各開口部の周囲に実質的に連続したギャザーが形成されるように、ウエスト部弾性部材23及びレッグ部弾性部材25が配設されている。

【0009】女性用ショーツ型吸収性物品1は、着用時に着用者の腰側に位置する腰側部Aと、着用者の背側に位置する背側部Bと、着用者の股下部に位置する股下部Cとからなり、腰側部A及び背側部Bに存する外装体21の左右両側縁同士が、ヒートシール等の公知の接合手段により接合されており、股下部Cの左右両側に、一对のレッグ開口部24、24が形成されている。

【0010】外装体21には、ウエスト部弾性部材23及びレッグ部弾性部材25それよりも細い弾性部材（以下、胴周囲部弾性部材3という）が、それぞれ幅方向に向けて、腰側部A、股下部C及び背側部Bに亘る範囲に所定間隔で複数配設されている。本実施形態における外装体21は、それぞれ不織布からなる複数のシート材、詳細には、吸収性物品1の外面を形成する外層シート26とその内側の内層シート27の計2枚のシート材を主体として構成されており、ウエスト部弾性部材23、レッグ部弾性部材25及び胴周囲部弾性部材3は、それぞれ、両シート26、27間に伸張状態で固定されている。

【0011】吸収性本体11は、図2に示すように、その長手方向を、外装体21の長手方向（図2の上下方向）に一致させて、腰側部A、股下部C及び背側部Bに亘るように、外装体21の内面側に固定されている。

【0012】吸収性本体11は、図2に示すように、その長手方向の両端部に位置する一对の第1接合部4a、4a及び排泄ポイント近傍に位置する第2接合部4bにおいて、外装体21に接着剤を介して接合されている。排泄ポイント近傍とは、着用者の排泄部に対向配置される部位及びその近傍を意味する。本実施形態の吸収性物品における排泄ポイントは、吸収性本体11を長手方向に二分する中心線から腰側部A側に若干偏倚した位置にある。図2には、排泄ポイントを指円印で示してある。

【0013】一对の第1接合部4a、4a及び第2接合部4bは、それぞれ、吸収性本体11の幅方向中央部に

4

おける、裏面シート13及び／又は外装体21における該裏面シート13に臨む面に、ホットメルト型の接着剤等の公知の接着剤を所定形状（矩形状）に塗布し、該接着剤を介して两者を接合させて形成されている。

【0014】各第1接合部4aを形成するための接着剤の塗布パターンは、ベタ塗りが好ましいが、スパイラル状、帯状、縞状、紐状、ドット状等がであっても良い。第2接合部4bを形成するための接着剤の塗布パターンは、第2接合部4b上に位置する弾性部材15の弹性伸縮性を消失しない低減させ、吸収性本体11を體の少ない状態で着用者にフィットさせる観点から、ベタ塗りが好ましい。但し、弾性部材15の弹性伸縮性を消失しない低減させることができることのできる限りにおいて、他の塗布パターンでも良い。

【0015】また、一对の第1接合部4a、4aそれぞれと第2接合部4bとの間には、該吸収性本体11が該外装体21に接合されていない非接合部6、6が形成されている。即ち、弾性部材15が配設された弾性領域G内における、一对の第1接合部4a、4aそれぞれと第2接合部4bとの間においては、該吸収性本体11と外装体21とは接着されておらず、着用時には、図1に示す如く、該吸収性本体11と外装体21とが、弾性部材15の収縮に伴い厚み方向に離間するようになされている。尚、弾性部材15が配設された弾性領域Gとは、吸収性本体11の幅方向の両外側に位置する一对の弾性部材15の外側縁と、吸収体の長手方向の両端とに囲まれた領域である。但し、幅広の弾性部材15が1本のみ配設されている場合には該弾性部材の両側縁と、吸収体の長手方向の両端とに囲まれた領域である。

【0016】本実施形態における第2接合部4bは、図2に示すように、略正方形に形成されており、第1接合部4aは、第2接合部4bに対して面積が1/5～1/2程度の長方形に形成されている。また、レッグ部弾性部材25は、第2接合部4bが存在する部位において、吸収性本体11を幅方向に横切っている。本実施形態の女性用ショーツ型吸収性物品1は、従来のパンツ型吸収性物品と同様に着用者に着用されて使用される。

【0017】本実施形態の女性用ショーツ型吸収性物品1によれば、吸収性本体11の厚み方向における吸収体14の外装体21側に、弾性部材15が長手方向に沿って配設され、前記非接合部6、6上に位置する弾性部材15が容易に収縮可能な状態にあるため、着用時には、図1に示すように、該弾性部材15の収縮作用により、吸収性本体11が着用者の脛側に向けて持ち上げられ、吸収性本体11が着用者の股下部にフィットするよう押し当たられている。しかも、吸収性本体11は、排泄ポイント近傍に位置する第2接合部4bにおいて外装体21に接合され、該第2接合部4b上に位置する弾性部材15は、弾性伸縮性を発現しないか又は非接合部6、6上に位置する部位よりも弾性伸縮性を発現しにくいた

(4)

特開2002-320641

5

め、排泄ポイント近傍における吸収性本体11には娘が生じにくく、若用者の排泄部には、吸収性本体の液吸収面が娘の比較的少ない状態で押し当たられる。そのため、本実施形態の女性用ショーツ型吸収性物品1によれば、人体から排出される經血、尿等の液体が効率的に吸収され、また、吸収性本体11上に排泄された液体の横方向への移動が防止され、これにより、優れた吸収性能及び漏れ防止性能が得られる。

【0018】また、外装体21の弹性部材3及び25は、第2接合部4リの領域に配されていても配されていても良いが、配されている場合には、接着剤を塗布する方法、外装体の弹性部材3及び25の何れか一方又は両方の本数を減らす方法、伸張率を第2接合部4リの領域にて低減させる方法等により、適度な伸縮性を有する程度にその伸縮力がその接合部付近で低減されていることが好ましい。第2接合部4リが存在する部位において、帽方向の弹性部材の伸縮力を適度に低減させることにより、排泄ポイントDの領域の吸収性本体の帽方向のヨレが防止され、身体に対するフィット性が向上してモレが一層防止される。尚、本実施形態における外装体の弹性部材3及び25は、長手方向に配された弹性部材15に比べ、その本数が多くなり、応力の強い弹性部材を使用するなどして、その収縮力が高められている。

【0019】若用者の股下部に対する吸収性本体11のフィット性を向上させる観点から、少なくとも股下部Cにおける弹性部材15は、25mm以上の幅で配されていることが好ましく、特に35mm以上の幅で配されていることが好ましい。尚、ここでいう「幅」とは、弹性部材15が1本のみ配設されている場合には該弹性部材の帽を意味し、弹性部材15が複数本配設されている場合には、複数本の弹性部材15の配設帽、即ち吸収性本体11の幅方向に拡がる帽W(図4参照)を意味する。また、この「幅」の上限値は、吸収性本体11の帽を越えない限り特に制限されないが、吸収性本体11の幅との関係等の関係から、股下部Cにおける、好ましい範囲の上限値は90mm程度、より好ましくは75mmである。

【0020】また、弹性部材15は、若用中における吸収性物品1のずり下がりを防止する観点から、吸収性本体11の内部に納まる長さであることが好ましく、その長さ(吸収性本体11の長手方向に沿う長さ)L1が、該吸収性本体11の全長に対しても95%未満の長さ、特に50~90%の長さであることが好ましい。また、吸収性本体11を持ち上げ吸収性本体11を若用者の股下部に確実にフィットさせる観点から、弹性部材15は、第2接合部4リに隣接する一对の前記非接合部6、6に位置する部分の合計長さ(L2+L3)が、吸収性本体11の全長に対しても10~70%であることが好ましい。また、同様の観点から、腰側部A寄りの非接合部6に位置する部分の長さL2及び背側部B寄りの接合

部6に位置する部分の長さL3は、それぞれ、吸収性本体11の全長に対しても5~50%であることが好ましい。また、長さL2と長さL3との比は1:1~1:5であることが好ましい。

【0021】また、娘がないか又は娘の少ない部分を吸収性本体11に確実に形成させる観点から、第2接合部4リは、吸収性本体11の長手方向に沿う方向の長さL4が、吸収性本体11の全長に対しても5~40%、特に10~30%であることが好ましい。

10 【0022】また、弹性部材15が配設された弹性領域Gは、若用者の股下部に対する吸収性本体11のフィット性を向上させる観点及び若用者を過度に締めつけないようにする観点から、その収縮力が250~950cN、特に400~900cNであることが好ましい。弹性部材15の収縮力は、以下のようにして測定される。テンションRTM100(株式会社オリエンテック)に5kgfのロードセル(TLD-5L-F)をセットし、引張試験を実施した。サンプルは、吸収性本体11部分を外装体21とともに切り出し、更に腰側から背側に配向している弹性部材(レッグ部弹性部材2、立体ギャザー形成用弹性部材16)を、吸収性本体11を留めないように取り去る。得られたサンプルを前記のテンションRTM100にセットし、測定する。測定は、立ち上がりより1000cNまでの測定長さの90%地点の応力を計測し、90%地点の応力の3点平均を「収縮力」とする。この測定において、弹性部分が吸収性本体よりも長い場合であっても吸収性本体部分においてのみ測定を行う。

20 【0023】また、弹性部材15は、その伸長率(配設状態の長さ/単独での自然長)が150~300%、特に180~250%であることが好ましい。また、第2接合部4リは、吸収性本体11の長手方向に沿う方向の長さL4が20~100mm、特に30~80mmであることが好ましく、第1接合部4a、4aと第2接合部4bとの間の非接合部6、6は、それぞれ、吸収性本体11の長手方向に沿う方向の長さL2、L3が各々100~250mmであることが好ましい。また、第2接合部4bの幅(吸収性本体11の幅方向に沿う方向の長さ、領域Gからはみ出す部分を含む)は50~200mm、特に70~150mmが好ましい。更に、吸収性本体11が前記領域Gにおいて外装体21に固定された部分の面積は、該領域Gの面積に対して10~60%、特に15~40%であることが好ましい。

30 【0024】本実施形態の吸収性物品1においては、外装体21の幅方向に胴廻り部弹性部材3が複数所定間隔で配設されており、第2接合部4リにおける吸収性本体11は、該胴廻り部弹性部材3の収縮力により、若用者の腰側へ凸形状を形成している。第2接合部4bにおける弹性部材15は、その収縮力が消失又は低減されているため、該弹性部材15は、吸収性本体11を若用者の

(5)

特開2002-320641

8

7
 肌側に持ち上げるように機能しない。しかし、外装体21の帽方向に胴周囲部弹性部材3を配設し、該弹性部材3により、吸收性本体11が肌側に凸状に弯曲するようになると、若用者の股間部、特に排泄部に対するフィット性が向上し、一層優れた漏れ防止性能が得られる。
 【0025】更に、本実施形態の吸收性物品1においては、吸收性本体11における排泄ポイント近傍に、他の部位よりも吸收体の厚みが大きい中高部が形成されている。中高部を形成することにより、若用者の排泄部に対するフィット性を一層向上させ、漏れ防止性能を一層向上させることができ。中高部の形成方法としては、大型の吸收層上に小型の吸收層を積層して小型の該吸收層が積層された部位を中高部とする方法や、吸收性材料を堆積させて吸收体を製造する際に一部の堆積量も他の部位よりも大きくして堆積量の多い部分を中高部とする方が挙げられる。

【0026】本実施形態の女性用ショーツ型吸收性物品1の構成部材の形成材料について説明する。表面シート12、裏面シート13、吸收体14、立体ギャザー18形成用のシート材17、外層シート26、内層シート27等の形成材料としては、従来、パンツ型使い捨ておむつや生理用ナプキン等に用いられるものを特に制限なく用いることができる。尚、図示例における吸收体14は、それぞれ複数集合体からなる大小二つの吸收層を構成し、これをテッシュ・シッペーパ等の液透過性の紙や不織布(図示せず)で被覆したものである。このように構成することで、排泄部へのフィット性を向上し、ソレを防止できる。また、吸收体の形状は、図示例の如く矩形状のものその他、台形や砂時計形状等、任意の形状のものを用いることができる。また、立体ギャザー形成用のシート材17としては、撥水性の不織布やフィルム等からなるものが好ましく、それにより、幅方向に撥水領域を形成し、モレを一層確実に防止することができる。

【0027】また、吸收性本体11に配設する弹性部材15としては、従来、使い捨ておむつや生理用ナプキン等の吸收性物品に用いられているものを用いることができる。また、ウエスト部弹性部材23、レッグ部弹性部材25、胴周囲部弹性部材3、立体ギャザー18形成用の弹性部材16としては、それぞれ、従来、パンツ型の使い捨ておむつ等に用いられているものと同様のものを用いることができる。尚、呑部に配される弹性部材の形成素材としては、例えば、スチレン-ブタジエン、ブタジエン、イソブレン、ネオブレン等の合成ゴム、天然ゴム、EVA、伸縮性ポリオレフィン、スパンデックス、発泡ポリウレタン等を挙げることができる。各弹性部材としては、各種形態のものを用いることができるが、弹性部材23及び25の形態は、所定幅の帯状のもの(平ゴム等)が好ましく、弹性部材3の形態としては、糸状のもの(糸ゴム等)が好ましく、弹性部材15の形態としては、糸状のもの(糸ゴム等)、所定幅の帯状のもの

(平ゴム等)、薄膜状のもの(ウレタンフィルム等)が好ましい。

【0028】以上、本発明の好ましい実施形態について説明したが、本発明は上記実施形態に制限されことなく、本発明の趣旨を逸脱しない範囲において種々変更が可能である。例えば、上述した実施形態における複数本の弹性部材15は互いに平行に配設されているが、複数本の弹性部材15を、若用者の股下部に配される部位から若用者の背側又は腹側に配される部位に向かうにつれて、その配設幅が拡大するように配設することもできる。このように配設することにより、若用者の形状によりフィットさせることができるとともに、吸收体形状が背側又は腹側に広がった形状の台形や砂時計形状の場合には、フィット性をより向上させることができる。また、複数本の弹性部材15に代えて、シート状(帶状等)の單一の弹性部材15を配設しても良く、更に、裏面シート13を弹性収縮性を有するシート材により形成し、これを弹性部材15としても良い。又、外装材に伸縮性を有する不織布と弹性材の複合材を用いることや、伸縮性を有するシート材を単独で用いることもできる。

【0029】また、吸收性本体11は、腹側部A、股下部C及び背側部Bに亘って配設されていることが好ましいが、股下部Cから腹側部A又は背側部Bの何れか一方のみに亘って配設されていても良く、更に股下部Cのみに配設されていても良い。また、各第1接合部4aと第2接合部4bとの間には、吸收性本体11と外装体21とが接合された他の接合部が存在していても良い。また、各第1接合部4aは、吸收性本体の長手方向の端部又はその近傍を固定できる限り、該吸收性本体の端縁から離間した部位に形成されても良い。また、第1及び第2接合部4a、4bの形状は、平面視して矩形状のものに制限されず、円形、橢円形、菱形状等、任意の形状とすることができる。

【0030】また、上述した実施形態においては、図2～4に示すように、吸收性本体11はその長手方向の両側部裏面側において接合部5を形成し、外装体21に連續直線状に接合されて吸收体の幅方向端部での浮きを防止しているが、斯かる連續直線状の接合部5は設けなくても良い。また、ウエスト部弹性部材23及びレッグ部弹性部材25それよりも細い胴周囲部弹性部材3を、腹側部A、背側部B及び股下部Cの何れか又は何れか二カ所以上に帽方向に配設した場合には、その胴周囲部弹性部材3を、少なくとも吸收体4の両側縁の外方に弹性伸縮性を発現するように固定すると共に、該吸收体4が存在する部位の少なくとも幅方向中央部には配設しないか又は該幅方向中央部においては弹性伸縮性を発現しないようにしても良い。ここで、弹性伸縮性を発現しないとは、弹性部材が存在しているが、その弹性部材の伸長状態が解除されたり、その弹性部材の弹性が熱

(5)

特開2002-320641

9

処理等により消失している等により、その弾性部材が弹性伸縮性を発現しない領域をいう。このように胸周囲部弾性部材3を配設することで、吸収体の吸収面を安定させるとともに、フィット性の低下を防ぐことができる。
【0031】本発明は、女性用ショーツ型吸収性物品（ショーツ型生理用ナプキン等）の他に、子供用又は大人用の使い捨ておむつ等にも適用することができる。

【0032】

【発明の効果】本発明によれば、着用者の排泄部に対し吸収性本体を離れない状態で良好にフィットさせることができ、人体から排出される経血、尿等の液体を効率的に吸収させることができると共に、液体が吸収性本体の幅方向に移動して生じる横漏れを防止することができる。吸収性能及び漏れ防止性能に優れたパンツ型吸収性物品を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1は、本発明の一実施形態としての女性用ショーツ型吸収性物品（ショーツ型の生理用ナプキン）を示す斜視図である。

【図2】図2は、図1の女性用ショーツ型吸収性物品を展開して平面状に広げた状態（緊張状態）における、該吸収性物品の内面側を吸収性本体を省略して示す平面図である。尚、図2においては、ウエスト部弾性部材及びレッグ部弾性部材の図示を省略し、また、吸収性本体は、その配設部位を示す外形線P及び弾性部材15の配設位置15のみを示してある。

【図3】図3は、図1の女性用ショーツ型吸収性物品を*

* 展開して平面状に広げた状態（緊張状態）における、図2のX-X線断面を模式的に示す断面図である。

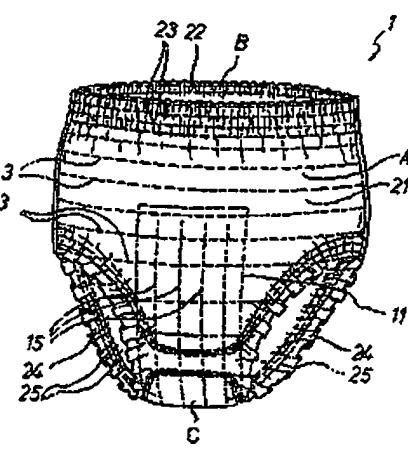
【図4】図4は、図1の女性用ショーツ型吸収性物品を展開して平面状に広げた状態（緊張状態）における、図2のY-Y線断面を模式的に示す断面図である。

【図5】図5は、図1の女性用ショーツ型吸収性物品の使用状態を示す図で、使用状態における図2のY-Y線断面に相当する断面を模式的に示す断面図である。

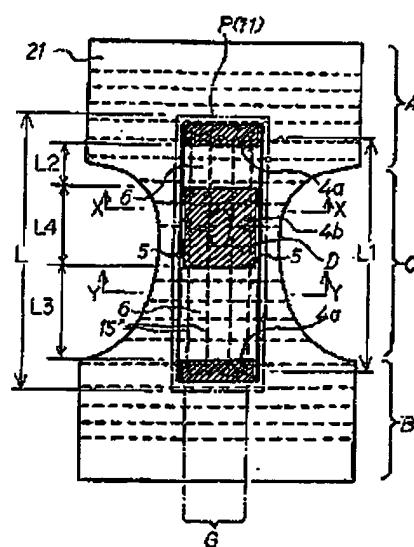
【符号の説明】

10 1 女性用ショーツ型吸収性物品（パンツ型吸収性物品）
 1 1 吸収性本体
 1 2 表面シート
 1 3 裏面シート
 1 4 吸収体
 1 5 弹性部材（吸収性本体に配設された弾性部材）
 1 8 立体ギャザー
 2 1 外装体
 2 6 外層シート
 2 7 内層シート
 4 a 第1接合部
 4 b 第2接合部
 A 腹側部
 B 背側部
 C 股下部

【図1】



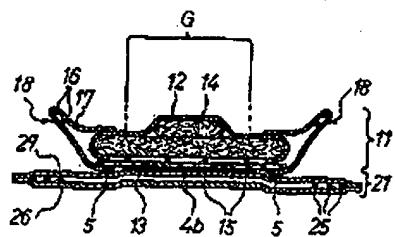
【図2】



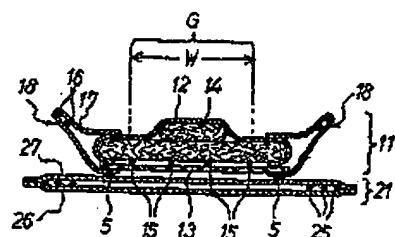
(7)

特開2002-320641

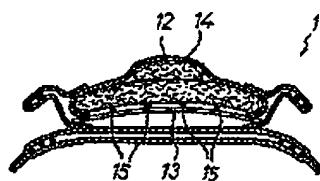
【図3】



【図4】



【図5】



フロントページの続き

(51) Int.Cl.
A 61 F 13/496
13/53

F !
A 41 B 13/02

タ-ゴード(参考)
G

(72)発明者 福原 弥生
栃木県芳賀郡市貝町赤羽2606 花王株式会
社研究所内

(72)発明者 田中 雅仁
栃木県芳賀郡市貝町赤羽2606 花王株式会
社研究所内
F ターム(参考) 3B029 BA02 BD02 BD13 BD15 BD16
4C098 AA09 CC04 CC07 CC10 CC12
CC15 CE05 DD10 DD12 DD22
DD24